

ノルウェー国郷土防衛隊のいわゆる特選中隊

皆さま、こんにちは。私はエリックと申します。本日はノルウェー国軍の郷土防衛隊のいわゆる特選中隊を中心に紹介したいと思います。

現在、世界情勢は不安定のなか、国民をあらゆる脅威から守るのは国の軍人達です。そして、自由がなければ生活自体が困難となりまので、国を守る人々の役割はとても重要だと言えます。

ノルウェーには空軍、海軍、陸軍と郷土防衛隊で国軍が構成されています。この中で空軍、海軍と陸軍は日本の自衛隊と同じように常勤の兵士ですが、郷土防衛隊とはどう違うのでしょうか。

まず、郷土防衛隊に入隊するには、1年間の兵役の完了が必要です。そして典型的な郷土防衛隊員は、ほかの軍人と異なり、民間勤務がありながら、徴兵制により1年間に7日間まで軍事訓練をしなければなりません。

さらに、郷土防衛隊には「精鋭」と呼ばれている特別な連隊があります。この連隊は全ノルウェーに12中隊として配置されています。こちらの中隊に入隊するには選別試験があります。この選別試験は地域ごとに異なりますが、基本的には3日間を通して、戦術の獲得能力テストや競合イベント、体力を消耗させるテストが行われます。

これらの中隊の名前は日本語には定義されていないので、私が「特選中隊」と翻訳しました。

特選中隊員は、任意の訓練教育を除いて1年間に30日間まで訓練します。この訓練期間は地域や年によって異なりますが、少なくとも一般的な郷土防衛隊員の訓練日数の3倍から6倍に相当します。

特選中隊は、災害派遣を含めて、重要な民間施設と軍事施設の警備や友軍と連携を取り、補助を行うことが基本です。そして、必要に応じて敵兵小隊まで迎撃し、撃滅することが求められています。

士気が高く、優れた装備を誇る部隊の一員として、「適材適所」というモットーを基に、訓練や様々な戦術コースと指揮官コースで隊員1人1人の能力向上に努めます。

郷土防衛隊には部隊の種類が限られていますが、特選中隊には様々な小隊があります。

プレゼンをご覧ください。こちらは特選中隊の様々な小隊の種類です。

最後に皆様にお願いがございませう。どうか平和を守ってくださる兵士たちを応援してください。

ご清聴ありがとうございました。